

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	雨水対策施設設置補助事業						継続		
コード	24	-	78	-	01	-	00	予算事業名	雨水施設維持事業
担当部署	事業推進部	下水道維持課			排水担当			予算事業コード	会計 02 款 02 項 20 目 30

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち			実施計画事業名	なし	
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり			個別計画等の名称	川越市環境基本計画	
施策	1	治水事業の推進			当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	3	雨水の有効利用の促進					
事業実施の根拠となる法令・条例等	川越市雨水対策施設設置補助金交付要綱						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市内に住所を有し、雨水対策施設を設置する者。(ただし、仮設の建築物及び営利を目的とする事業の利用に供される建築物に雨水対策施設を設置する者は除く。)雨水対策施設の設定に対する補助をすることで、雨水の一時的な流出を抑制するとともに、雨水の有効利用を促進する。		
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	住宅の屋根に降った雨をといを使って雨水対策施設(浸透ます・小型貯留槽)まで導いて処理した場合に、その費用の一部に補助金を交付するもの。		

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	855	769	769	950	798	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	803	464	739	512	798	798
人件費 B	734	734	734	734	734	734
総コスト(C=A+B)	1,537	1,198	1,473	1,246	1,532	1,532
正規職員(1年間の従事人数)	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	1,537	1,198	1,473	1,246	1,532	1,532

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	申請件数	件	23	21	30	22	25
	指標の定義・説明	雨水対策施設設置補助金申請件数					
成果	浸透ます設置数	基	34	5	23	16	20
	指標の定義・説明	浸透ます補助基数					
成果	小型貯留槽設置数	基	19	22	27	20	20
	指標の定義・説明	小型貯留槽補助基数					
成果	補助金交付額	千円	803	464	739	512	798
	指標の定義・説明	交付補助金額					
指標に基づく評価		浸透ます、小型貯留槽とも設置基数は、概ね順調に推移しており、一定の効果を上げているものと考えられる。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題
申請受付は先着順で、補助金額が予算額に達した時点で受付終了となるため、設置工事の時期により当年度中に補助金が受けられなくなる場合が出てくる。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	狭山市、入間市、川口市、越谷市、戸田市等で同様の事業を実施している。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	雨水の一時的な流出の抑制及び有効利用を図ることは、集中豪雨による浸水被害の軽減や災害時の観点からも重要性を増していると思われる。市民からの電話等での問い合わせも多いことから、関心の高さがうかがえ、影響は大きい。

# 平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		事業推進部				下水道維持課	排水担当
事務事業名称		24	78	01	00	雨水対策施設設置補助事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					